

何を使う

【機器】 スマートフォンまたはタブレット

【ソフトウェア (アプリ)】

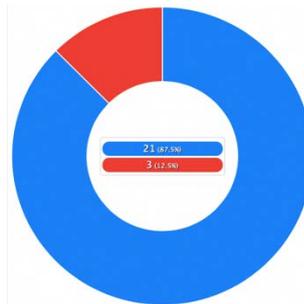
C-Learning 【(株)ネットマンのアプリケーション】



それをどう使う (それで何が出来る)

- ・ 「協働板」で全生徒の考えを共有し、お互いにコメントすることができる。
- ・ 「アンケート」で全生徒の考えを瞬時に集計・グラフ化することができる。
- ・ 「レポート」で文字数などを指定した上で課題を設定し、簡単に評価やコメントを加えて返信できる。

【テーマ】 動物実験に賛成か反対か



【コメント】

【反対】 人間が使うものなのに、動物で実験するのは違う気がする。

【賛成】 人間がこれから生きてく上で必要な事だから。

【賛成】 普段使用している薬など、犠牲になった子供のおかげで出来ているので仕方ないと思う。ただ、犠牲にってしまったぶん増やしてあげなければいけないと思う。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

高校 生物基礎研究 (学校設定科目)「生物学と人間生活の関わり」

【 Before 】

- 考えを共有する際は、生徒を指名して 1 人ずつ発言を行う。

【 After 】 **メリット**

- 生徒全員の考えを瞬時に共有できるため、特定の生徒に発言が偏らず、全員が参加して授業を進めていく雰囲気を作ることができる。また、様々な視点を踏まえて考察を深めることができる。
- 取組に対する生徒同士のコメントや教員からの評価を蓄積することで、これまでの学習を簡単に振り返ることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他	学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	△	提示なら大型提示装置				
	1人1台スマホまたはタブレット							
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続	○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		理科・国語・社会	
		○	○		活用が想定される場面		意見の交換・整理	